

令和7(2025)年度 社会貢献-5 航海実施表 2025-20 (2025/8/8 作成)

- 1、授業科目 「小学生 SDGs キャンプ in 江田島！」 小学5・6年生対象
- 2、航海目的 近隣の海の様子や生き物の観察・調査から、しだいに瀬戸内海全体とフィールドを広げ、様々な海の体験活動を通して、海の環境や気候問題、ごみ問題等といった「SDGs」について考える体験活動を行う。
- 3、実施研究室 国立江田島青少年交流の家、水域循環制御論、練習船
- 4、期間 2025年08月08日(金) ~ 2025年08月08日(金) (1 日間)  
※出港日07:00広島県南部(呉・東広島)に大雨・大雪・洪水・暴風の警報発表の場合は延期又は中止にします。
- 5、日程

出港 Departure			入港 Arrival			航程 Distance	調査海域 Area	備考 Remark			
月日 Date	時刻 Time	港名 Port	月日 Date	時刻 Time	港名 Port	マイル mile		潮流 Slack	Max	Kt	
(金) 8/8	09:55	呉港		(通過) 10:23	音戸ノ瀬戸	4	呉湾 音戸ノ瀬戸	概要説明、講義 遭難訓練、消防訓練、昼食			
	(通過) 10:23	音戸ノ瀬戸		10:44	到着	3	安芸灘 広港南	透明度、船橋見学、CTD、PLN バンドン採水、SM採泥、ドレッジ			
	(漂泊) 12:55	ST1		(通過) 13:17	音戸ノ瀬戸		3	安芸灘 音戸ノ瀬戸	音戸ノ瀬戸見学		
	(通過) 13:17	音戸ノ瀬戸		14:00	呉港	7	音戸ノ瀬戸 呉湾	三ツ子島(塩山)見学			
						合計 17	マイル	安芸灘 学内扱 ¥30,000			

5、乗船者 ※清水司厨長が都合により乗船を取り止めた。

区分	所属及び氏名		員数	備考
大広島学島	教員	【統合生命科学研究科】 (准教授) 橋本 俊也	1	臨時変更: 旅客50名 航行時間: 4:05 6H以内 09:55 ~ 14:00
	学部	【教育学部】ボランティア (B4) 加藤 彰悟 (B2) 久保田 剣三 (B2) 井手 歩実 ★	3	
他大学等	職員	【国立江田島青少年交流の家】 (専門職) 大田 飛鳥 (専門職) 石橋 将平 (看護師) 荒巻 明美 ★	3	
	大学生	【安田女子大学教育学部】 ボランティア (B2) 久保田 早重 ★	1	
	受講者	(小5) 田川 心晴 ★ (小6) 枝松 莉桜 ★ (小5) 倉本 あおい ★ (小6) 秦 悠乃 ★ (小5) 西田 涼々 ★ (小6) 小田 陽菜乃 ★ (小5) 三戸 櫻子 ★ (小6) 畠中 芽以華 ★ (小5) 中村 環希 ★ (小6) 吉田 桜音羽 ★ (小5) 岡本 和奏 ★ (小6) 大津 咲帆 ★ (小5) ジョーンズ 拓人 (小6) 武井 杏咲 ★ (小5) 日吉 優太 (小6) 山本 夕夏 ★ (小5) 山本 涼太 (小6) 鈴木 啓心 ★ (小5) 和田 広貴 (小6) 中島 一瑳 (小5) 宮地 陽生 (小6) 吉川 大俊 (小5) 木村 優介 (小6) 山田 諒 (小5) 奥野 晴 (小6) 先城 将生 (小5) 間宮 健心 (小6) 金藤 雅宏 (小6) 玉置 鷹杜 (小6) 菅原 寛翔	30	
豊潮丸	甲板部	(船長) 中口 和光 (三航士) 小櫻 峯之 (一航士) 加藤 幹雄 (甲板員) 半田 徹 (次一航) (甲板員) 井原 達也 (二航士) 近藤 栄作	6	
	機関部	(機関長) 藤原 政輝 (二機士) (一機士) 山中 章文 (機関員) 山口 祐樹	3	
小計	司厨部	(司厨長)	0	
男性 30 名		★女性 17 名	合計 47 名	

- 7、作業項目 (1) 講義: 海洋観測の重要性~瀬戸内海の海洋環境を考える  
(2) 海洋観測、目視観測  
ST-1: 25分2交代(透明度、船橋見学)(CTD、バンドン採水、プランクトン) 全員(SM採泥器、ドレッジ)

8、豊潮丸準備品 透明度板、CTD(小型)、バンドン採水器、SM採泥器、ドレッジ、プランクトンネット、ベッドシート(8枚)

広島	潮時	潮高cm
8/8	06:39	269
	13:24	75
	20:23	334

- 9、その他 (1) 帽子着用  
(2) 体調管理の徹底  
(3) 連絡先: 豊潮丸携帯電話080-1926-4877、豊潮丸船舶電話090-3022-4347  
E-mail: toyoshio(a)hiroshima-u.ac.jp (a)を@に変更し送信してください。

令和7(2025)年度 社会貢献-5 航海予定表 2025-20 (2025/7/25 作成)

- 1、授業科目 「小学生 SDGs キャンプ in 江田島！」 小学5・6年生対象
- 2、航海目的 近隣の海の様子や生き物の観察・調査から、しだいに瀬戸内海全体とフィールドを広げ、様々な海の体験活動を通して、海の問題や気候問題、ごみ問題等といった「SDGs」について考える体験活動を行う。
- 3、実施研究室 国立江田島青少年交流の家、水域循環制御論、練習船
- 4、期間 2025年08月08日(金) ~ 2025年08月08日(金) (1 日間)  
※出港日07:00広島県南部(呉・東広島)に大雨・大雪・洪水・暴風の警報発表の場合は延期又は中止にします。
- 5、日程 航海予定は船速 9.0 kt/hで計画しています。コロナ禍・気象等により変更になる場合があります。

出港 Departure			入港 Arrival			航程 Distance	調査海域 Area	備考 Remark			
月日 Date	時刻 Time	港名 Port	月日 Date	時刻 Time	港名 Port	マイル mile		潮流 Slack	Max	Kt	
(金) 8/8	10:00	呉港	(通過)	10:30	音戸ノ瀬戸	4	呉湾 音戸ノ瀬戸	概要説明、講義 遭難訓練、消防訓練、昼食			
	(通過) 10:30	音戸ノ瀬戸		11:05	到着		安芸灘 広港南	透明度、船橋見学、CTD、PLN バンドン採水、SM採泥、ドレッジ			
	(漂泊) 13:30	ST1	(通過)	12:00	ST1 1:30	5	安芸灘 音戸ノ瀬戸	音戸ノ瀬戸見学			
	(通過) 14:10	音戸ノ瀬戸		14:10	音戸ノ瀬戸	6	音戸ノ瀬戸 呉湾	三ツ子島(塩山)見学			
				15:00	呉港	7					
						合計 22	マイル				

5、乗船者 ※清水司厨長が都合により乗船を取り止めた。

区分	所属及び氏名		員数	備考	
大広島島 小計 4	教員	【統合生命科学研究科】 (准教授) 橋本 俊也	1	臨時変更: 旅客50名 航行時間: 5:00 6H以内 10:00 ~ 15:00	
	学部	【教育学部】ボランティア (B4) 加藤 彰悟 (B2) 久保田 剣三 (B2) 井手 歩実 ★	3		
他大学等 小計 34	職員	【国立江田島青少年交流の家】 (専門職) 大田 飛鳥 (専門職) 石橋 将平 (看護師) 荒巻 明美 ★	3		
	大学生	【安田女子大学教育学部】 ボランティア (B2) 久保田 早重 ★	1		
	受講者	(小5) 田川 心晴 ★	(小6) 枝松 莉桜 ★	30	
		(小5) 倉本 あおい ★	(小6) 秦 悠乃 ★		
		(小5) 西田 涼々 ★	(小6) 小田 陽菜乃 ★		
		(小5) 三戸 櫻子 ★	(小6) 畠中 芽以華 ★		
		(小5) 中村 環希 ★	(小6) 吉田 桜音羽 ★		
		(小5) 岡本 和奏 ★	(小6) 大津 咲帆 ★		
		(小5) ジョーンズ 拓人	(小6) 武井 杏咲 ★		
		(小5) 日吉 優太	(小6) 山本 夕夏 ★		
(小5) 山本 涼太	(小6) 鈴木 啓心				
(小5) 和田 広貴	(小6) 中島 一瑳				
(小5) 宮地 陽生	(小6) 吉川 大俊				
(小5) 木村 優介	(小6) 山田 諒				
(小5) 奥野 晴	(小6) 先城 将生				
(小5) 間宮 健心	(小6) 金藤 雅宏				
	(小6) 玉置 鷹杜				
	(小6) 菅原 寛翔				
豊潮丸 小計 10	甲板部	(船長) 中口 和光 (三航士) 小櫻 峯之 (一航士) 加藤 幹雄 (甲板員) 半田 徹 (次一航) (甲板員) 井原 達也 (二航士) 近藤 栄作	6		
	機関部	(機関長) 藤原 政輝 (二機士) (一機士) 山中 章文 (機関員) 山口 祐樹	3		
	司厨部	(司厨長) 清水 夫成	1		
男性 31 名		★女性 17 名	合計 48 名		

- 7、作業項目 (1) 講義: 海洋観測の重要性~瀬戸内海の海洋環境を考える  
(2) 海洋観測、目視観測  
ST-1: 25分 2交代(透明度、船橋見学)(CTD、バンドン採水、プランクトン) 全員(SM採泥器、ドレッジ)

8、豊潮丸準備品 透明度板、CTD(小型)、バンドン採水器、SM採泥器、ドレッジ、プランクトンネット、ベッドシート

広島	潮時	潮高cm
8/8	06:39	269
	13:24	75
	20:23	334

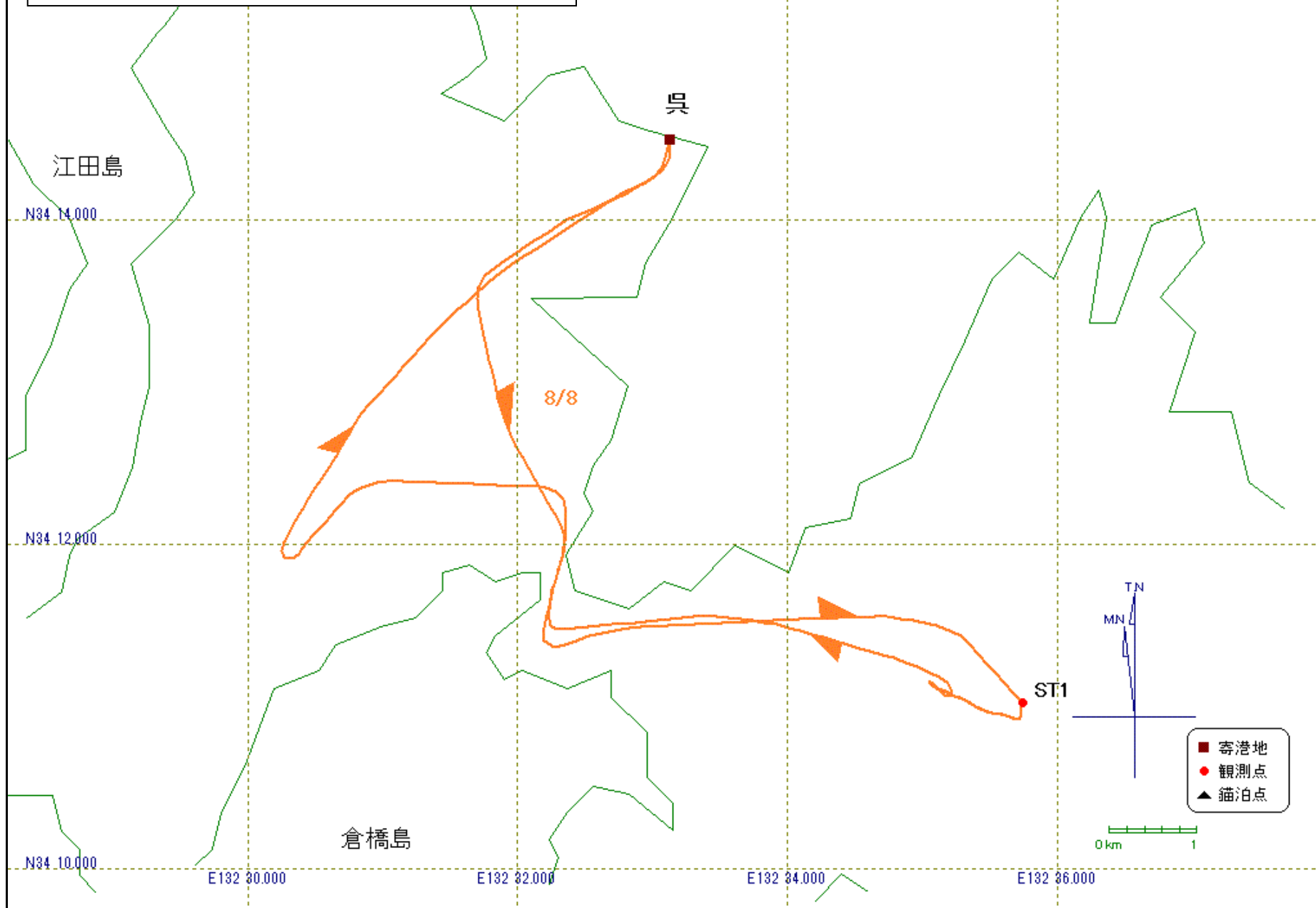
- 9、その他 (1) 帽子着用  
(2) 体調管理の徹底  
(3) 連絡先: 豊潮丸携帯電話080-1926-4877、豊潮丸船舶電話090-3022-4347  
E-mail: toyoshio(a)hiroshima-u.ac.jp (a)を@に変更し送信してください。

2025-20

観測点 (ST)	開始	終了	時間	観測内容	緯度	経度	水深m
8月8日	10:00	10:25	0:25	注意事項説明、学生食堂にて講義			
	10:25	10:45	0:20	遭難訓練及び防火訓練			
<b>1 安芸灘・広港南 海洋観測</b>							
	11:50			2班交代 透明度・水色、船橋見学	34-10.982N	132-35.442E	10
				2班交代 小型CTD10m、バンドン採水10m、プランクトンネット8m			
	12:48	0:58		SM採泥 全員			底質：泥
	12:48			ドレッジ 針路<140度> 対地速力2.0kt			
	12:50			曳網開始 (ワープ長25m 傾角60度)	34-11.123N	132-35.101E	11
	12:51	0:01		曳網終了 (ワープ長25m 傾角60度)	34-11.099N	132-35.131E	11
	12:55	1:05		ドレッジ回収、観測終了			
	13:05	13:30	0:25	音戸ノ瀬戸及び三ツ子島 (工業塩) の見学			

# 豊潮丸 2025-20 航海図

令和7年8月8日



# 豊潮丸航海撮要日誌

No. 2025-20 航海

社会5

月日	正午位置	風向	風力	天候	気圧 (hPa)	気温 (°C)	水温 (°C)	航海時間	航海距離	平均速力	備考
8/8	34-10.934N, 132-35.730E	SW	2	c	1004.2	28.0	27.9	02-05	7.6	3.6	09:55 呉港出港
								02-00	9.0	4.5	14:00 呉港入港
							合計	04-05	16.6	4.1	

世界測地系 WGS84

「 8月8日(金) 出港時」

※法定医薬品や航海に必要な物品の積込みを確認した。

食料：乗船者38名・船員9名の昼食は各自準備。

※積載物の積付は良好で、船舶の安全性を損なう状況に無いことを確認した。

※操舵設備、無線設備及び航海機器の作動状態の点検を行い、結果は良好であった。

喫水：DF 2.60m、DM (P&S) 2.75m、DA (P&S) 2.95m

「 8月8日(金) 入港時」

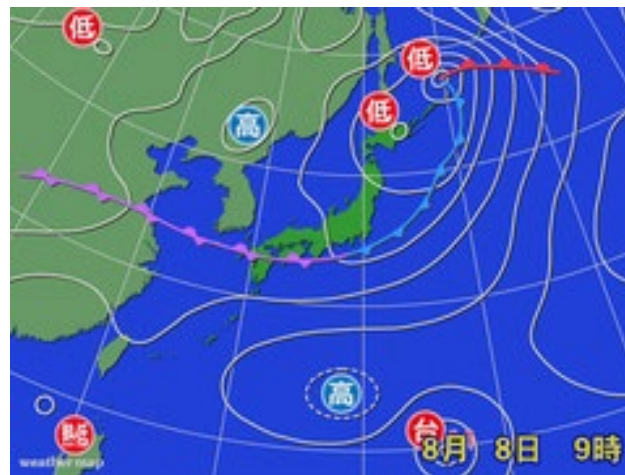
喫水：DF 2.60m、DM (P&S) 2.75m、DA (P&S) 2.95m

## 豊潮丸 2025-20 天気図

令和7年8月8日

資料：株式会社ウェザーマップ『気象人』

<http://www.weathermap.co.jp/kishojin/>



運航調書

豊潮丸 (令和7年度)

No. 2025-20

航海名目	社会5 「小学生 SDGs キャンプ in 江田島！」 小学5・6年生対象		
実施研究室	国立江田島青少年交流の家、水域循環制御論、練習船		
期間	令和7年8月8日(金)	～	令和7年8月8日(金) 1日間
乗船者	教員 橋本 俊也 以下 1名	学生 加藤 彰悟 以下	34名
乗船者内訳	その他 大田 飛鳥 以下 3名	合計	以下 38名
広島大学統合生命科学研究科(准教授1名)、広島大学教育学部(学生3名) 安田女子大学教育学部(学生1名)、国立江田島青少年交流の家(専門職2名、看護師1名) 受講者(小学生30名)			

運航時間

航海	4時05分	錨泊	0時00分
港停泊	19時55分	入渠	0時00分

運転時間

発電機関	10時58分	作業艇	0時00分
推進機	4時14分	航走距離	16.6 浬

燃料等使用量

	A重油(ℓ)	潤滑油(ℓ)	ガソリン(ℓ)	灯油(ℓ)	飲料水(トン)
前航繰越量	35,250	2,810	80	53	
積込量	0	0	0	0	
整備使用量	0	0	0	0	
出港時所有量	35,250	2,810	80	53	31.1
積込量	0	0	0	0	0.0
使用量	374	1	0	0	2.6
残量	34,876	2,809	80	53	28.5

甲板部( 3/0 ) 機関部( 藤原 ) 船長( 中口 )

【編集者：橋本俊也准教授】

2025年8月8日（金）に国立江田島青少年交流の家の教育事業「小学生SDGsキャンプ in 江田島」の一環として、参加者が生物生産学部附属練習船「豊潮丸」に乗船し、私（橋本俊也）や「豊潮丸」職員の指導のもと、海洋観測実習などを行いました。

この事業は、様々な海の体験活動を通して、環境や気候問題、ごみ問題等といった「SDGs」について考える体験学習を行い。これを通じ、「いま自分たちにできること」について考えさせ、環境保全・保護にむけて積極的・主体的に行動しようとする意欲・態度を養うことを目的として実施されています。

参加者は広島県内の小学5・6年生30名であり、交流の家職員3名、学生ボランティア（広島大学教育学部、安田女子大学）4名の合わせて37名が乗船しました。9:45ごろ豊潮丸練習船基地で乗船し、その後、海洋環境に関する講義を実施し、遭難訓練を行いました。昼食後に広沖海域で海洋観測実習を行いました。透明度の測定、バンドン採水器による海底付近の海水の採集、動物プランクトンの採集・観察、SM採泥器による海底泥の採集・観察、ドレッジによる底生生物の採集・観察などを行いました。また、操舵室（ブリッジ）、学生居室などの見学も行いました。その後、練習船基地への帰路に、音戸の瀬戸と三ツ小島（工業用輸入塩の中継基地）を船上から見学し、その後反省会などを行い、14:00ごろ豊潮丸練習船基地で下船しました。曇りがちの天気とはいえ猛暑の中での作業になりましたが、水分補給や休憩などの時間をとり、体調管理に注意して実習を実施しました。

参加者が小学生であり、様々なトラブルが予想されましたが、豊潮丸職員や交流の家職員などの協力で大きな問題もなく実施することができました。海洋環境の保全には研究者、漁業関係者や行政担当者だけでなく一般市民の理解と協力が必要です。今後もこのような行事を続けていくことは有意義なことであると考えます。

猛暑の中でしたが、小学生たちは元気いっぱい、船内をくまなく探検していました。子どもたちにとっては有意義な実習になったのではないかと思います。数年後この実習に参加した小学生が、生物生産学部に入學してくれれば... と祈っております。

江田島青少年交流の家

<https://etajima.niye.go.jp/>



